

1 地域振興部

○県民生活

月	日	事 項	説 明
1	2 4	県災害対策本部日高支部及び印南町、日高川町合同図上訓練	関係機関相互の連携を深め迅速・的確に対応できる体制を確立するために、日高振興局、管内県地方機関、印南町、日高川町、警察、消防、自衛隊等が参加した総合的、実践的な図上訓練を実施。
1 6 1 0	2 9 1 6 9	移動県民相談	日高振興局で相談員・弁護士による移動県民相談を実施。 年3回実施。
2	6	第28回北方領土返還要求和歌山県民大会	県民一人ひとりが北方領土に対する正しい理解と知識を深め、一日も早い北方四島一括返還を実施することを目的に開催。 北方領土返還要求運動和歌山県民会議が主催、かつらぎ総合文化会館で開催、会長表彰を社団法人伊都青年会議所、橋本防衛協会及びかつらぎ防衛協会が受賞。
3	2	春季全国火災予防運動に伴う啓発活動	火災の発生しやすい時季を迎えるにあたり、火災予防思想の普及及び火災の発生防止を目的に、日高振興局、管内各町及び日高広域消防事務組合が連携し、広報車・消防車による管内主要路線の啓発巡回を実施。
4	6	春の全国交通安全運動初日啓発行事	日高地方の高齢者等を対象に、御坊警察署中島交通課長による交通安全教室を実施。 腹話術師の「千田やすし」さんを迎え、交通安全講話の実施。
4	6	春の全国交通安全運動街頭啓発	Aコープゆら、オークワロマンシティ前において、県民の交通安全意識を高揚させ、交通事故防止徹底を図ることを目的に、交通指導員、警察官等と協力し、交通安全啓発のチラシ・物資の配布を実施。
6 8 9 1 1	2 5 1 7 4 1 7	紀の国ふれあいバス	より開かれた県政を推進するため、県の施設や地域の振興に努めている施設をバスで案内し、実際に見ていただき、県政やふるさと和歌山について理解を深めてもらうとともに、意見・提言等を県政に反映。
6 7	3 0 1	日高総合庁舎消防訓練	日高総合庁舎に勤務する職員を対象に、御坊市消防本部予防課長を講師に迎え、火災予防の講演及び消火器・消火栓の使用法の指導、実践を実施。
7	1 3	わかやま夏の交通安全県民運動街頭啓発	オークワロマンシティ前において、県民の交通安全意識を高揚させ、交通事故防止の徹底を図ることを目的に、交通指導員、警察官、紀央館高校等と協力し、交通安全啓発のチラシ・物資の配布を実施。
7 7	1 3 1 4	日高振興局交通安全研修会	日高総合庁舎に勤務する職員を対象に、御坊警察署交通課長を講師に迎え、交通事故の防止について講演、ビデオによる研修を実施。
7 8	2 2 4	「夏の子どもまもる運動」街頭啓発	御坊広域青少年補導センター職員とともに、公用車にて日高管内啓発巡回を実施。
8	2 8	日高総合庁舎耐震等改修工事	災害時応急対策の指揮、情報伝達活動等の施設機能を確保するため、耐震等改修工事を開始。老朽化した設備のリニューアルも実施。
9	6	第46回和歌山県防災総合訓練	防災活動体制の充実強化と県民の防災意識の高揚を図ることを目的に、県、管内各市町、自衛隊、警察、消防等の防災関係機関及び地元自主防災会等の地域住民が参加した総合的な防災訓練を実施。
9	1 1	第31回交通安全キャンペーン全国キャラバン隊	和歌山県交通安全母の会連絡協議会主催、印南町公民館で内閣府特命担当大臣（交通対策本部長）からのメッセージを印南町長に伝達。
9	1 8	秋の全国交通安全運動街頭啓発	オークワロマンシティ前において、県民の交通安全意識を高揚させ、交通事故防止の徹底を図ることを目的に、交通指導員、警察官、愛徳保育園等と協力し、交通安全啓発のチラシ・物資の配布を実施。

月	日	事 項	説 明
11	9	秋季全国火災予防運動に伴う啓発活動	火災の発生しやすい時季を迎えるにあたり、火災予防思想の普及及び火災の発生防止を目的に、日高振興局、管内各町及び日高広域消防事務組合が連携し、広報車・消防車による管内主要路線の啓発巡回を実施。
11	29	日高地方交通指導員会連絡協議会研修会	交通指導員の資質向上を図るため、日高川交流センターで、御坊警察署管内市町の交通指導員を対象に研修会を開催。御坊警察署中島交通課長を講師に招き「日高路の交通マナーアップについて」をテーマに講演を実施。
11	29	日高地方交通指導員会連絡協議会優良指導員会長表彰式	交通指導員として、地域の交通安全に貢献し、多大の成果を収めた指導員2名を優良指導員として表彰。
12	1	わかやま冬の交通安全県民運動街頭啓発	オークワロマンシティ前において、県民の交通安全意識を高揚させ、交通事故防止の徹底を図ることを目的に、交通指導員、警察官等と協力し、交通安全啓発のチラシ・物資の配布を実施。
12	8	高齢者交通安全講座	交通事故をなくする県民運動推進協議会、和歌山県主催高齢者の交通安全意識の高揚を図るため、みなべ町社会福祉センターで、みなべ町シルバー人材センター会員を対象に交通安全講座を実施。

○人権・青少年の健全育成

月	日	事 項	説 明
1	30	日高地方青少年育成県民運動推進委員連絡協議会先進地視察研修会	紀の川市打田生涯学習センターにおいて、県内の青少年育成先進地の取組について学ぶとともに意見交流会を実施。
2	10	DV被害者支援ネットワーク会議の開催	日高地方のDV被害者支援に関係する機関の連携強化を目的に開催。日高地方の現状や相談窓口の充実等について協議。
2	24	日高郡地域活動連絡協議会役員事務局研修会	平成20年度の反省と21年度の事業計画を話し合った後、「ハーブを楽しむ」事務局長棚野氏を招き、研修会を実施。
5	1	日高地方青少年育成県民運動推進委員連絡協議会総会	平成20・21年度推進委員及び各市町青少年事務担当者が出席。平成20年度の反省と21年度の事業計画について話し合った。
5	14	日高郡地域活動連絡協議会総会・クラブ大会	子どもの福祉の増進、健全育成を目的として活動する日高郡地域活動連絡協議会の総会とクラブ大会を開催。クラブ大会では、和歌山市立貴志南小学校校長本田氏を講師に迎えて講演会を実施。
6	3	「和歌山県人権尊重の社会づくり協定」の締結	すべての人の人権が尊重される豊かな社会の実現を目指し、県内企業等と県が協働する「わかやま人権パートナーシップ推進事業」を実施。日高管内では恵和株式会社アタックテクノセンター、大洋化学株式会社を新たに締結。(管内計7団体に)
6	7	少年メッセージ2009日高地方発表大会	日高地方青少年育成県民運動推進委員連絡協議会が主催。日高町中央公民館において、地域住民に青少年の考え・意見・状況を広く知ってもらい、青少年健全育成への動機付けの機会とするとともに、県大会出場者の選考を実施。
6	23	男女共同参画週間(6月23日～29日)街頭啓発	オークワロマンシティ前で男女共同参画社会形成に向け、県民の理解を深めるため、御坊法務局、人権擁護委員、御坊市、ウィズ・ア・スマイル等と協力し街頭啓発を実施。
8	8	少年メッセージ2009和歌山県大会	和歌山県青少年育成協会が主催。新宮市福祉センターで、管内日高高校附属中学校2年玉寄杏奈さん銀賞、切目中学校3年早田愛梨さん入賞を受賞。
8	22	和歌山県地域子ども集団親睦交流スポーツ大会	和歌山県子ども会連絡会主催、御坊市の2チームが出場。
10	16	男女共同参画推進事業者の登録	男女共同参画に積極的に取り組んでいる事業所を「男女共同参画推進事業者」として登録し、その取組みを広く紹介することで、男女共同参画の輪を広げていこうという目的で男女共同参画推進事業者奨励事業を実施。日高管内では、新たに御坊商工会議所が登録。(管内計2団体に)

月	日	事 項	説 明
1 1 1 1	1 1 9	同和運動推進月間（1 1 月 1 日～1 1 月 3 0 日）、人権を考える強調月間（1 1 月 1 1 日～1 2 月 1 0 日）	月間中、関係機関と連携し御坊駅前や各地のスーパー店舗前にて街頭啓発を実施。印南中学校生徒会の参加協力を得た。
1 1	7	青少年健全育成強調月間県民大会	ビッグ愛において、青少年育成に関する種々の知事表彰、日本ネット安全モラル学会副会長浅井氏の講演、和歌山児童合唱団のミニコンサート等を実施。
1 1	1 1	青少年健全育成強調月間広報キャラバン隊	広報キャラバン隊を組織し管内市町を巡回、知事メッセージを管内市町の首長に伝達。
1 1 1 1	1 2 1 9	「女性に対する暴力をなくす運動」（1 1 月 1 2 日～1 1 月 2 5 日）街頭啓発	オークワロマンシティ前で、御坊警察署、御坊市、ウィズ・ア・スマイル等と協力し街頭啓発を実施。1 1 月 1 9 日には印南中学校生徒会の参加協力を得て実施。
1 1	2 8	日高地方地域子ども集団親睦交流大会	日高地方青少年対策部主催。管内各市町より小学生と保護者のペア（計 5 4 組）が出演し、ボーリング大会を実施。管内子ども会相互の親睦交流を図る。
1 1	2 9	近畿地区子ども会育成研究協議会	近畿地区子ども会連絡協議会主催。白浜町で開催された研究協議会に日高地方子ども会連絡会からも 2 名が参加し、他府県の会員との交流を深めた。

（日高の産業振興）

○商工業の振興

月	日	事 項	説 明
1 ～ 1 2		企業訪問 新規進出企業・増設等	管内企業の現状、課題及び行政に対するニーズを把握するため企業訪問を実施。局長による企業訪問 7 社、担当者レベルの企業訪問 2 8 社 マルテン天満屋 4 月操業開始 恵和アタックセンターⅢ 6 月竣工式・9 月操業開始 ミナベ化工 1 0 月立地協定締結・平成 2 3 年 4 月操業予定
2 1 1 1 1	1 8 9 1 0	「和歌山日高フェア」開催	大阪市内のBigBeansで日高特産品販売促進協議会による特産品販売・観光PR を実施。
4		ふるさと認証食品「梅干し及び調味梅干し」の認証 (認証期間 2 1 . 4 . 1 ～ 2 4 . 3 . 3 1)	認証業者：2 5 社（1 3 8 商品）
7		ふるさと認証食品（2 2 . 4 . 1 ～ 2 5 . 3 . 3 1）申請受付	更新申請業者：5 社（2 5 商品） 新規申請業者：4 社（1 8 商品）
7 ～ 1 2		第 2 回プレミアム和歌山	H 2 1 . 7 . 1 ～ H 2 1 . 8 . 1 0 申請書受付 日高管内受付 4 5 商品（県計受付 3 0 4 商品） H 2 1 . 1 2 . 2 認定品発表会 日高管内認定 1 7 商品（県計認定 1 4 0 商品）
8	1 4	日高地方Uターンフェア	新卒・一般求職者を対象に、地元企業への就職を支援するため、合同の就職説明・面談会を実施。 参加事業者 2 3 社、来場者 1 1 3 名うち 1 9 名が内定
1 0	2	事業継続計画（BCP）基礎セミナー（有田会場）	地震などの自然災害、新型インフルエンザ対策など、企業防災を推進するためセミナーを開催。日高管内から約 5 0 社が参加。
1 2	2 0	きのくにロボット フェスティバル 2 0 0 9	実行委員会主催で、御坊市立体育館で実施。今年で 3 回目の開催、国内企業 4 社が出展。 来場者数 7, 0 0 0 名

○観光の振興

月	日	事 項	説 明
4	1 6	白崎海洋公園が平成百景に選定	読売新聞創刊135周年を記念して新時代の景観を選ぶ「平成百景」で全国19位(県内最高位)に選定。
7	3 1	白崎海洋公園が「道の駅」に登録	日高管内3番目の道の駅として登録決定。 12月21日にオープン。
9 9	1 7 1 8	日高地方観光ファムツアー	旅行会社の担当者ら7名を招き、日高地方の観光地で体験や下見ツアーを開催。商品開発やツアー商品化に向けた意見交換を実施。 クラブツーリズム、日本旅行、毎日新聞旅行、トップツアー、和歌山大学、ペンクラブ会員等が参加。

○ふるさと創りの推進

月	日	事 項	説 明
4	2 5	農家民泊現地研修会の開催	日高川町で農家民泊現地研修会を開催。 民泊開業者から体験談や開業手続きなどを説明。 管内参加者 14名
9	2 3	クエのまちテーマソング完成記念式典及び発表会	日高町と日高町商工会主催、作詞家で国立大学観光学部客員教授でもある、もず唱平先生指導の下、20年度から和歌山大学観光学部と日高町商工会がクエのまちテーマソング作りに取り組み、21年7月に2曲(「九絵のバラード」「クエクエboogie-woogie」)が完成。 和歌山大学観光学部、もず唱平先生及びピアノデュオQU-Eに感謝状の授与・QU-Eによる曲完成発表。

○県民との協働活動による産業振興への取り組み

月	日	事 項	説 明
2	2 6	「開店! ビストロ日高」第2回モニターツアー開催	大阪府下の外食産業関係者に日高地方の冬の食材を紹介することを目的としてモニターツアーを開催。
1 ～ 3		20年度政策コンペ事業 「3K時代(健康・環境・観光)の葉草・ハーブのある暮らしの創造」事業	料理講習会、ハーブおじさん講話を実施。 1月15日に観光先進地調査を実施。 農悠舎王隠堂(奈良県五條市) 重要伝統的建造物群保存地区(奈良県橿原市)

○食育の推進

月	日	事 項	説 明
1 0	2 2	日高食育フェア	「～楽しもう 味わおう 食育の秋～」体験型の食育総合フェアの開催。 講演会、スープカフェ、販売コーナー、 かんたん朝ごはんレシピコンテスト一般投票・表彰、 食育クイズラリー、展示コーナー等

○雇用の推進

月	日	事 項	説 明
4 ～		ふるさと雇用再生特別基金活用事業	【県事業 1件】 ・日高広域着地型観光事業(新規雇用:2名) 【市町事業 7件】 ・御坊市:紀州日高!!鮮魚・加工品等販路開拓、拡大事業(1名) 「がいなポート」を核とした地域活性化事業(6名) 空き店舗利用による地域活性化事業(2名) ・印南町:真妻わさびの里復興事業(2名) 里山資源循環利活用事業(9名) ・日高川町:乾椎茸生産振興事業(4名) 日高川町特産品販路開拓・アンテナショップ運営事業(4名)

月	日	事 項	説 明
4 ～		緊急雇用創出事業臨時特例基金 活用事業	環境、農林漁業の分野を中心に実施。 ・御坊市：4件 10人 ・美浜町：5件 12人 ・日高町：4件 22人 ・由良町：4件 15人 ・印南町：5件 32人 ・みなべ町：2件 6人 ・日高川町：8件 29人)

○活力ある地域づくり

月	日	事 項	説 明
9	8	わがまち元気プロジェクトの承認 事業実施主体： 御坊市 由良町	御坊市 プロジェクト名：“花のまち御坊” ステップアッププラン 由良町 プロジェクト名：“由良・白崎海岸” 観光まちづくり

(日高の農業振興)

○農業者活動の活性化を支援

月	日	事 項	説 明
1	13	地域農業を考える日高のつどい	日高川交流センターで大自然と食育について講演を実施。 テーマ：「視点を変えた日本農業」
1	20	日高地方青年農業者会議	農業青年が相互の技術並びに経営成果を発表。 問題解決、展開方向を研究討議。
12		花育推進活動	日高地方農業士会と日高地方花き連合会が主催し、管内小学校(28校)へ「切花」と「説明パンフ」を配布。寒川第一小学校で贈呈式と「花のお話」実施。
7	27	日高地方花き連合会研修会	日高振興局で、「切花の国内流通の動向と『花育』活動、及び切花の輸入・海外情勢等について」というテーマで講演を実施。 参加者69名
9	3	ニューファーマーズ激励会	印南町で4Hクラブ連絡協議会役員・理事と新規就農者との交流会実施。 4Hクラブの活動紹介・Iターン就農者の事例紹介。参加者15名
10	16	第23回ふるさとの味交換会	日高地方生活研究グループ連絡協議会と日高振興局農業振興課が主催し、各市町の伝統料理や郷土料理40種類の試作及び試食。 参加者 生活研究グループ会員等130名 (みなべ町保健福祉センター)
11	13	農業者年金協会日高支部研修会開催	「笑いで心と財布がハッピーに」というテーマで講演を実施。 参加者85名 (印南町公民館)
11	21	スターチス・カスミソウのPR活動	御坊市4Hクラブ員14名(全員花き生産者)が実施した御坊の花PR活動を支援。JR京都駅で花束1,500束を配布。

○農業担い手確保・育成対策の推進

月	日	事 項	説 明
2 ～ 11	27 ～ 19	ハッピーレディス講座	農業の担い手としての知識、技術の学習会を開催。 農家女性が受講。6回開催。
4 ～		こだわり農産物の推進による新規就農者確保事業の推進	ふるさと雇用再生特別基金を活用し、地域特性を活かしたこだわり農産物を推進、継続的な雇用を創出し、将来、地域農業の担い手となる新規就農者を確保。管内委託先 8戸、雇用者 10名
6 ～		新規就農定着促進事業の推進	新規就農者経営の早期安定を図り、地域における将来の担い手を育成・確保するため、地域の担い手育成総合支援協議会が事業主体となって行う事業推進と補助残融資を支援。 新規就農者が行う施設整備等に対し、400万円を上限に1/2以内を補助。助成対象者 管内21名

○学校教育と連携した食育の推進

月	日	事 項	説 明
6 6	1 6 1 9	「和歌山まるごと食体験事業 ～食文化体験(梅加工)～」	「梅」の加工体験を通じ、食文化や農業について理解を深め、「食」を次世代に伝えることを目的に実施。 実施対象4小学校 参加児童112名
1 0	6	「梅干しで元気！！キャンペーン」実施	管内小学校(30校)、特別支援学校(1校)の児童・職員に対し、「県産梅干し」と「パンフ」を配布。日高川町立中津小学校で贈呈式を実施。
1 1	6	～プロの技を学ぼう～「キッズシェフ体験！！」	地元農業や農産物について学んだ後、プロの調理師から巻き寿司、けんちん汁の作り方を学ぶ。 参加者 御坊市立名田小学校42名
1 2	1 4	わかやまなんだから、みかんをもっと食べようキャンペーン	日本一のみかん産地である本県内の全小学生にみかんを提供、みかんについて理解を深め、食する習慣を育むことを目的に実施。 日高では、管内全小学校及び県立特別支援学校、計34校に配布。

○地域特産ブランドの育成

月	日	事 項	説 明
5 1 1	3 1 8	遊休農地を活用した芋焼酎の生産及び「植付け・収穫体験」イベントの開催	御坊市名田で、遊休農地活用グループ「段々畑」が遊休農地でさつまいもを栽培、芋焼酎を生産・販売。21年度から消費者との交流イベントも開催。
8	2 7	新農林水産業戦略プロジェクト推進事業全体計画の承認 事業実施主体： 紀州中央農業協同組合 グリーン日高農業協同組合	JA 紀州中央 プロジェクト名： 花き生産・流通の低コスト化とオリジナル品種の販売促進 グリーン日高農業協同組合 プロジェクト名： かんきつ類の出荷時期拡大のための生産・流通対策と加工品開発、販売促進
9	2 4	新農林水産業戦略プロジェクト推進事業全体計画の承認 事業実施主体： みなべいなみ農業協同組合	プロジェクト名： ミニトマト(赤糖房・優糖星)の高品質生産及び加工品開発、販売促進

○果樹・野菜・花き等栽培技術支援

月	日	事 項	説 明
1 ～ 1 2		肥料高騰対策事業の支援	化学肥料が高騰する中、土壌診断に基づいた施肥設計の見直し等により施肥量の低減への取り組みを支援。管内10団体、約1,200戸対象
2 ～ 1 2		梅の新品種調査検討	2月、6月、12月の3回実施。 みなべ町、JA、紀州うめ研究協議会、県関係機関において実施。
2	1 8	ヒートポンプ研修会	日高地方花き連合会主催、花き生産での活用が期待されているヒートポンプについての研修会を支援。 「ヒートポンプ導入事例及び効果的な活用方法について」等の事例報告やバラ、洋ランの現地調査を実施。
7 ～ 1 0		ゆら早生果実品質調査	7回調査(日高川町5園、由良町3園)
8 ～ 1		中晩柑カンキツ果実品質調査	6回調査(日高川町18園)

月	日	事 項	説 明
1 0	2 2	生育不良特別対策部会	うめ生育不良調査結果、事業計画検討。 参加者 1 9 名
1 1	～	松葉堆肥を活用した農産物の生産を支援	美浜町煙樹ヶ浜の松林保全のため松葉を堆肥化。キュウリ、ミニトマトの生産を支援。
1 2	2	花き研修会	日高地方花き連合会主催、暖地園芸センターで、スターチスを中心とした花き栽培新技術についての研修会を支援。 県育成スターチスオリジナル品種等について報告。 参加者 2 5 名

○野菜花きの生産流通体制の整備と省エネ栽培の支援

月	日	事 項	説 明
4	～	野菜花きの流通体制の整備	JA紀州中央が「がいなポート」を整備。 集出荷施設 8. 3 5 1 m ²
4	～	施設園芸省エネ栽培の推進	循環扇の設置等支援 6. 6 ha
1 0	～	施設園芸経営危機緊急対策の推進	県内の施設園芸による農業生産の維持と活性化を図るため、耐用年数を経過したパイプハウス更新を支援。
1 0	6	施設園芸省エネ研修会	燃油、生産資材の高騰により農業経営が圧迫される厳しい状況において、冬の加温時期を前に省エネ技術を学び、今後の栽培に活かしてもらうことを目的に暖地園芸センターで研修会を開催。参加者 農家等 2 3 名

○鳥獣害防止対策の支援

月	日	事 項	説 明
1	～	鳥獣害防止防止対策の推進	電気柵、捕獲用檻などの設置。
1 2	1 1	ジビエ(獣肉)の活用を検討	ジビエの利用活用、普及拡大を目的にジビエ料理(シシ肉カレー)の試食、及びアンケートを実施。 日高川町農業まつり会場 3 0 0 食 印南かえるのフェスティバル会場 2 5 0 食

○農村地域整備の推進

月	日	事 項	説 明
3		土地改良施設の震災対策	和田地区畑かん施設の完成。
4	～	農業用水路の改築	南紀用水・日高川工区の実施。 日高川Ⅱ期地区の実施。 南紀用水(嶋ノ瀬ダム)の実施。 印南地区の事業着手。
4	～	ため池の改修	油河池、平野岡池の事業着手。 新池(三百瀬)、新池(野島)の実施。
4	～	畑地帯の整備	4月みなべ地区の実施。 3月名田地区の完成。

○団体営事業の支援

月	日	事 項	説 明
1	～	農地・農業用施設災害復旧の実施	農地災害(29件)、農業用施設災害復旧(67件)
1 2			

月	日	事 項	説 明
4 ～		農業集落排水施設の整備	内原東地区（日高町）、宮ノ前・古屋地区（印南町）の実施。
4 ～		中山間農地の整備	かわべ地区（用排水路、農道、集落道の整備）（日高川町）の工事実施。
4 ～		農道の整備	小倉谷地区（みなべ町）の工事実施。 崎山地区（印南町）の工事実施。
8 ～		農業用水施設の整備	岡本地区（日高川町）の事業着手。

（日高の森林・林業振興）

○低コスト林業推進

月	日	事 項	説 明
6	2	香川県森林協会「低コスト林業」 現地視察	日高川町上初湯川 美山村森林組合間伐搬出作業を視察。 参加者22名
8	3 1	川辺町森林組合役員研修会	日高川町土生 日高川町役場 低コスト林業の普及啓発。 参加者8名
1 0	1 4	熊野川町森林組合、那智勝浦町 森林組合「低コスト林業」 現地視察	日高川町愛川 美山村森林組合間伐搬出作業を視察、作業員との意見 交換。 参加者12名
1 2	1	那賀広域森林組合「低コスト林 業」現地視察	日高川町上初湯川 表土ブロック積工法を視察。 参加者3名
1 2 1 2	1 0 1 1	みなべ川森林組合と建設業者が 連携した森林作業道開設技術研 修	日高振興局、日高川町上初湯川 美山森林組合作業道開設現場に於いて 建設業者に対する低コスト作業道の施工研修。 参加者3名

○森林・林業・木材利用普及啓発

月	日	事 項	説 明
1 ～ 1 2		日高林業普及ニュース発行	森林・林業・木材産業の最新情報や行政施策等を広く普及啓発。 毎月1回 発行部数140部
2	6	防風林に関する普及啓発活動	印南町の小学生に対して切目海岸防風林の役割に関する普及啓発。
4 ～ 1 0		紀州材需要創出事業（家づくり 支援）	応募46件、採択26件
4	1 4	紀の国プロジェクトキャラバン 活動	各市町教育委員会の教育長へ紀州材利用推進を普及啓発。
1 0 1 1	7 1 1	「木の日」のキャンペーン活動	里山の樹木で作る木工教室を開催。 印南保育所（印南町）、寒川保育所（日高川町）

○企業の森の推進

月	日	事 項	説 明
6	1 4	セイカの森 下草刈	日高川町愛川 活動面積：1. 17 h a 参加者120名
6	2 0	しんたくんの森 下草刈	日高川町愛川 活動面積：0. 75 h a 参加者55名
7	1 8	J A 共済絆の森 下草刈	日高川町愛川 活動面積：1. 00 h a 参加者72名
9	4	ユニチカの森 下草刈	日高川町高津尾 活動面積：2. 11 h a 参加者28名

月	日	事 項	説 明
9	4	東洋紡みらいの森 下草刈	日高川町愛川 活動面積：0.75ha 参加者39名
9	26	連合和歌山の森 下草刈	日高川町寒川 活動面積：1.05ha 参加者42名
10	31	宅建の森 下草刈	日高川町三十木 活動面積：1.13ha 参加者40名

○森林病虫害防除対策

月	日	事 項	説 明
5～ 6		松くい虫防除事業地上散布実施	御坊市、美浜町、印南町、みなべ町で実施。

○紀の国森づくり基金活用事業

月	日	事 項	説 明
1～ 12		紀の国森づくり基金活用事業公 募	4件採択

○治山事業（県営）の竣工

月	日	事 項	説 明
1～ 12		治山事業（県営）の竣工	32件

○林道事業（市町村営）の竣工

月	日	事 項	説 明
1～ 12		林道事業（市町村営）の竣工	10件（災害復旧を含む）

（日高の水産業振興）

○水産業の振興

月	日	事 項	説 明
3 3	5 6	第14回全国青年・女性漁業者交 流大会	虎ノ門パストラル（東京）で開催された第14回全国青年・女性漁業者 交流大会に白崎クルーズが和歌山県代表として出場。
4 ～		漁業後継者支援活動	10月9日、12月10日日高地区漁村青年協議会を開催。 8月21日 漁業士連絡協議会一本つり部会開催。 11月25日、12月17日 まき網部会開催。
4 ～		栽培漁業の推進	アユ、アマゴ、ヒラメ、イサキ、マダイ、オニオコゼ、クエの中間育成 ・放流指導を実施。 比井崎漁協をはじめ日高地区全域でクエの中間育成に取り組み、4、6 00尾を10月下旬に放流。
4 ～		イセエビ増殖礁の造成 イサキ増殖礁現況調査 ヒラメ増殖礁の造成	みなべ町で投石事業を実施。 印南町・御坊市に設置されたイサキ増殖礁の現況について調査。 由良町地先（1カ所）・日高町地先（2カ所）で実施。
4 ～		紀州日高漁協流通検討会	販売事業強化のため流通アドバイザー派遣による検討会開催。 3回の実施。
4 ～		紀州日高漁協の鮮魚販売	「開店！ピストロ日高」を契機として回転寿司店と居酒屋チェーンへの 鮮魚販売を開始。回転寿司店では3～4月に紀州日高フェアを開催。居 酒屋チェーンでは近畿地区の38店舗へマルアジの販売を実施し、取引 は現在も継続中。
9	12	漁民の森下草刈り	平成20年3月に植樹した漁民の森（日高川町）の下草刈りを実施。 参加者28名
9	29	水産改良普及勉強会	クエの放流とその効果調査などについて（独）水産総合研究センター五 島栽培漁業センターと和歌山県栽培漁業協会より講師を招き、漁業者、 漁協・行政関係者を対象に勉強会を実施。参加者34名

2 健康福祉部

(健康危機管理体制の整備)

月	日	事 項	説 明
5 ～ 10		健康危機管理協議会の開催	メキシコ発の新型インフルエンザについて、国内で感染例が確認される前に、国内で感染が確認され今後県内発生が確認される前に、また、管内発生後の地域の対策について認識の共有と今後の対応について検討。計4回開催。 協議会メンバー：管内医療関係者、市町、消防機関、保健所 他
8	4	新型インフルエンザ研修会の開催	管内でも感染者が増加している新型インフルエンザについて、国内初発例の対応にあたった神戸市立医療センター中央市民病院の医師を招き、その体験から今後の適切な対処方法について学習。参加者 約100名
11	20	トリアージ研修会の開催	災害医療救護訓練に参加する医師、看護師、保健師、救急救命士等を対象に治療の優先順位を決定するトリアージ研修実施。参加者 約50名
11	28	災害医療救護訓練の実施	御坊保健医療圏の関係16機関を含む全22機関で、地震を起因とするバス衝突事故を想定した救助救護訓練を実施。なお、今回は和歌山県緊急消防援助隊紀中ブロック訓練と合同のため有田管内消防機関も参加。参加者 約220名

(圏域医療体制の整備)

月	日	事 項	説 明
3		子どもの救急ガイドブック作成	主に就学前の乳幼児を対象としたオリジナルの「子どもの救急ガイドブック～こんな時どうする?～」を作成し、保護者に配布。 このガイドブックは、日頃よく見られる子どもの急病や事故について説明するとともに、家庭での対応方法とどんなときに救急受診をしたほうが良いのか等がまとまっている。
4		管内救急医療体制の整備	3月末で休止となった御坊広域休日急患診療所の機能を移転拡充する形で、「国保日高総合病院・日高医師会 病一診連携休日急患診療室」を開設。
12		病院立入検査の実施	管内4病院を対象に、医療法の規定に基づく立入検査を実施し、良質な医療を提供するため必要な助言・指導を実施。

(健康づくりの推進)

月	日	事 項	説 明
7 ～ 12		健康講座 わっはっは“笑いの大学” Part V の開講	運動と休養に関する健康づくりに焦点を当て、健康講座を開催し、知識の普及啓発を実施。計5回開催。参加人数 延べ121名
10	10	健康日高21「健康ウォーキング in 癒しのまち日高」開催	西山山頂から日高町小池方面へ約4kmウォーキングを実施。森林浴をしながら癒しのまち日高をPRするとともに、健康ウォーキングについての意識を高めた。参加申し込み 51名

(地域福祉の充実)

月	日	事 項	説 明
3		わかやま長寿プラン2009の策定	第5次和歌山県老人福祉計画・第4次和歌山県介護保険事業支援計画として「わかやま長寿プラン2009」を策定。
3		日高圏域障害福祉計画の策定	障害者施策を総合的かつ効率的に推進するために、日高圏域の構成市町と振興局健康福祉部・御坊保健所が協働して第2期計画を策定。
7		老人福祉施設整備の調整	「わかやま長寿プラン2009」および国の緊急経済対策における介護拠点等の緊急整備に基づく老人福祉施設の整備について、御坊・日高老人福祉圏域における調整を実施。

(食品衛生・薬事対策)

月	日	事 項	説 明
1		衛生的な手洗い並びに咳エチケットの普及	食中毒・感染症予防対策として学校等に対して衛生的な手洗い並びに咳エチケットの予防啓発事業を実施。
8		食品、添加物等の夏期一斉取締りの実施	アレルギー原材料の記載がない菓子による苦情が発生したため、管内菓子製造業者に対して、適正表示推進のための巡回指導を実施。
9		医薬品安全使用推進事業の実施(最終年度)	医療機関の間で患者が服用している医薬品の情報交換を行うためのツールとして有効な「お薬手帳」を一層普及させるため、「紀州レンジャー」のイラストを使ったポスター・パンフレットを作成し、管内医療機関、薬局等において啓発を実施。
6		薬物乱用防止の新しい教育ツールを開発	「薬物乱用防止」の教育手法に、「クロスワード」と呼ばれているゲーム形式を取り入れ、楽しみながら考えることができる教材を開発した。また、学生、指導者を対象とした講習会で活用。

(動物愛護の推進)

1		「わうくらす」の実施	児童が命の大切さや他者への思いやりの心を育んだり、適正飼育やその義務や責任を理解し、さらにその保護者の認識を新たにしてもらうことを目的に管内小学校4校で「わうくらす」を実施。
11			
7	30	適正飼育講習会(譲渡講習会)の実施	適正飼育の普及を目的として適正飼育講習会(譲渡講習会)を御坊保健所で実施。この講習会を動物愛護センター以外で行うのは県下初。
9	29		

(環境対策)

1		不法投棄・公害苦情等への対応	事業活動に伴い排出される産業廃棄物、特に建設系廃棄物の不法投棄や悪臭等による苦情が多く寄せられ、それらに対する適切な監視・指導を実施、早期対応に努めた。
4		産業廃棄物の保管及び土砂等の埋立て等の不適正処理防止に関する条例の施行	産業廃棄物の保管及び土砂等の埋立て等を規制する条例が平成21年4月1日に施行、12月末までに11の特定事業について許可申請があり内6件に許可。
1		管理型最終処分場設置に係る生活環境影響調査の開始	大栄環境(株)が、御坊市塩屋地内に設置を計画している産業廃棄物中間処理施設並びに管理型最終処分場設置について、平成20年12月に開始した建設予定地周辺の生活環境影響調査の現況把握の工程が平成21年11月終了。
11			

3 建設部

月	日	事 項	説 明
1 ～		管内道路パトロールを実施	建設部管轄路線での事故及び災害等を未然に防げるよう、最低月1度は全路線全道路について限無くパトロールを実施。
1 ～		管内河川パトロールを実施	建設部管轄河川での不法投棄・不法占用等の監視を定期的を実施。
1 ～		管内港湾・海岸・漁港パトロールを実施	港湾・海岸・漁港における安全確保、不法行為の監視等のため、定期的 にパトロールを実施。
3	26	御坊美山線「新観音寺橋」供用	日高川町船津で進めていた県道改良工事で、新観音寺橋（L＝92m）を含む800mが開通。当区間の旧道は幅員が狭く、特に旧観音寺橋は車両のすれ違いが困難で、非常に不便な状況であったが、この開通に伴い、通行の安全性や利便性の向上はもとより、地域の生活、産業等の発展に寄与することとなった。
3	27	椿山ダム非常用洪水吐（こうずいばき）ゲートからの放流	非常用洪水吐（クレストラジアル）ゲートからの点検を兼ねた放流を実施。同ゲートは、ダム上部にあり昭和63年3月のダム完成時に試験放流を行ったが、運用開始から計画規模を超える洪水がなかったため、有水での開閉は21年ぶり。6門のゲートから毎秒29トンの水が放流。
4	21	海岸保全施設の安全利用点検実施	ゴールデンウィークを控え、海岸の利用が本格化する前に、海浜や護岸等の海岸保全施設の安全利用点検を実施。
4 ～ 5		風水害時対応研修実施	風水害時の河川水位の上昇、道路災害等に対する対応向上のため建設部職員を対象に部内研修を実施。
5	13	洪水予報対応演習実施	出水時の水防警報及び洪水予報等の迅速かつ的確な伝達等を行い、防災体制に万全を期するため和歌山地方气象台と共同演習を実施。
5	20	国道424号「仮称滝2号トンネル」貫通	国道424号の「仮称滝2号トンネル」（延長300m）が貫通。
5	21	日高川洪水予報連絡会開催	管内最大規模の河川である日高川の洪水予報の伝達等に支障が出ないように、関係機関との調整を図るため連絡会を開催。
5	22	建設リサイクルパトロール	建設リサイクル法にかかる産業廃棄物の適正処理について管内工事現場のパトロールを実施。
6	7	土砂災害・全国統一防災訓練	土砂災害に対する全国統一防災訓練として情報等の伝達訓練を管内市町と実施。
6 7	11 24	夏期港湾・海岸・漁港安全利用 巡視、テロ対策強化	夏期の港湾・海岸・漁港の利用が増加する時期に際し、パトロールを実施するとともに、張り紙等によりテロに関する注意喚起を実施。
7 7	5 12	7月5日～12日の梅雨前線の 豪雨により河川施設（南部川外 8河川）、道路施設（1路線） が被災	南部川外8河川28箇所 の河川施設（護岸決壊等）、 国道424号が被災した。 被害額 224,786千円
7	30	道路掘り返し規制連絡協議会開催	管轄道路上で行われる工事について、各機関との調整を行うことで、交通に極力支障がでないようにすることを目的に協議会を開催。
7 8	27 7	インターンシップ制度による研 修生の受け入れ	和歌山工業高等専門学校環境都市工学科の学生を受け入れ、各事業課での実務研修や災害実務研修、現場見学等を実施。
7	下旬	営業所調査	入札参加資格制度の厳格な運用のため、県の入札参加資格をもつ建設業者に対し順次営業所調査を実施。
8	1	日高港塩屋緑地の供用開始	平成17年度により実施してきた塩屋緑地整備が完了、供用開始した。現在は多くの来訪者で賑わっている。11月1日には、7,000人の来訪者があった。10月1日から、御坊市に管理委託を行っている。

月	日	事 項	説 明
9	～	国道425号 印南町上洞（かぼら）地区の工事着手	ダム関連区間までの工事を進めていたが目処がついたので、上流の上洞地区の工事が開始。
9	7 ～ 9 18	インターンシップ制度による研修生の受け入れ	和歌山大学システム工学部環境システム学科の学生を受け入れ、各事業課での実務研修や災害実務研修、現場見学等を実施。
9	28 ～ 10 3	9月28日～10月3日の秋雨前線の豪雨により河川施設（榎川外4河川）が被災	榎川（ほくそがわ）外4河川7箇所（河川施設が護岸決壊等で被災。 被害額 27,493千円
10	5 ～ 10 9	10月5日～9日の台風18号により河川施設（小中川外6河川）、道路施設（2路線）が被災	小中川外6河川6箇所（河川施設（護岸決壊等）、滝切目停車場線外1路線2箇所の道路施設が被災。 被害額 37,764千円
10	11 ～ 10 17	違反建築パトロール	違反建築を防止し、良好な市街地環境の形成と建築物の質の向上を図るためパトロールを実施。
10	27	建設リサイクルパトロール	建設リサイクル法にかかる産業廃棄物の適正処理について管内工事現場のパトロールを実施。
11	1 ～ 11 30	宅地建物取引業者の立入調査	宅地建物取引の公正を図るため、業者の事務所等への立ち入り調査を実施。
12	4	建設工事に係る入札制度等説明会	建設業法遵守及び入札制度の周知徹底を図るため開催。併せて、人権問題についての認識と理解を高めてもらうため、人権研修を実施。 参加者 約200名